平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		新観光ビジョン戦略会議				所管	文化産業観光部 にぎわい計画課			
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成 2 2 年度			
		[小 柱]					[終了予定] - 年度			
		[施 策]								
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区新観光ビジョン戦略会議設置要綱 台東区新観光ビジョン戦略会議専門部会設置要綱						
	事業対象	観光に係る区民や事業者・団体等								
	事業目的	戦略会議を通じて、多様な観光事業の実施主体の役割を明確にするとともに、連携して効果的・効率的な観光振興を推進していく。								
	事業内容	多様な観光事業の実施主体が丸となって観光振興を推進していくために台東区新観光ビジョンの計画全体を統括し、各種調整や取組みの評価、情報共有の場とする。								
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度			
	活動指標	戦略会議(本会議)開催回数 回		1	1	1	1			
	成果指標									
	決算額 (単位：千円)				218	386	96			
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,400	1,666	2,556			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			49	321	6			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			170	66	90			
		総経費			5,619	2,053	2,652			
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			5,619	2,053	2,652					
前年度から改善した事項	年度末に戦略会議(本会議)を開催することで、関係諸団体、各所管課より施策の取組みについて報告がなされ、今後の観光振興事業の推進に関する議論が交わされ、情報の共有化が図られた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	時代のニーズを的確にとらえ、施策の改善や新たな事業の企画立案など柔軟に対応し、情報共有するため、多様な関係団体等の参加による会議の開催は必要である。							
	効率性	3	新観光ビジョンの取組みを官民一体となって推進するため、学識経験者及び関連業界、関係諸団体が一堂に会し、情報や意見を聞いている。							
	手段の適切性	3	観光事業を効果的に推進するためには、実施主体の相互支援体制や情報の共有化を図る仕組みが必要である。多様な関係団体で組織する新観光ビジョン戦略会議の運営は有効な取組みである。							
	目的達成度	2	25年度は観光アクションプランの進捗管理が中心であったため、本会議1回のみで開催であった。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性			
継続して会議を開催し、各施策の進行管理を行うとともに、活発な議論を交わしながら施策の改善やPDCAサイクルによるチェックの実施により、新観光ビジョンの検証をしていく。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		